

アジア・国際人材交流シンポジウムを開催

特定非営利活動法人みらい東北では、東日本大震災の被災地における就労人口の不足や少子高齢化など地域課題の解決策や改善策を提案するシンポジウムをワールドカフェスタイルで開催いたします。

東北地方の各企業の超過収益を高める「ブランドマーケティング」の経営手法に着目しながら、農業、健康産業や介護などの各分野で実践的に活動している企業家の方々をお招きしてご講演いただきます。

なお本シンポジウムは、「新しい東北」官民連携推進協議会の「連携セミナー制度」に採択されています。

<記>

日時 : 2019年2月8日(金) 17:00~20:00
会場 : 衆議院第一議員会館(東京都千代田区永田町2-2-1)
内容 : ○基調講演(50分)

「農村地域における地域ブランドの挑戦」
藤代典子/八戸学院大学特任准教授

○事例発表(各15分)

- ・「ベトナム・フエ農林大学からの現役大学生の研修生受入れ事例」
久貝サラム・小川浩史/青森ジャパンファーム株式会社(青森県八戸市)
- ・「『かなえるデイサービスまる』の実践現場からの高齢者×農業×福祉、事例」
池田右文/株式会社池田介護研究所(青森県八戸市)
- ・「東北被災者の受入れから、子供図書館開設、地域密着型の市民活動例」
南三陸ホテル観洋(宮城県南三陸町)
- ・「気仙沼産の素材で健康食品。東北から海外展開の発信例」
糟谷耕一/株式会社スリーピース 代表取締役社長(宮城県気仙沼市)
- ・「動画サイト『多文化市民メディア(DiVEtv)』創業活動から、地方における移住外国人の支援活動例」
牧野佳奈子/一般社団法人 DiVE TV 代表(愛知県名古屋市)

○ワールド・カフェタイム/名刺交換会(30分)

- ・「日本ブラジル交流サイト」開設から経済グループ BBQ 設立まで」
橋本 秀吉/特定非営利活動法人 ABC ジャパン代表
- ・「2018 年来日帰国後 N 3 を取得。日越の交流会を開設計画」
DAO THI NGOC KIM /元外国人技能実習生 (ベトナム)

定員・参加料 : 100 名・無料

シンポジウムホームページ : http://hikario.m3rd.jp/blog.php?m_id=2929

一般からの申込・お問合せ : 青森ジャパンファーム(株) TEL : 0178-67-2300 E-mail : amazon9220@yahoo.co.jp

* 敬称略

<報道関係によるお問合せ先>

青森ジャパンファーム(株) TEL : 0178-67-2300 E-mail : amazon9220@yahoo.co.jp

※本プレスリリースは、「新しい東北」官民連携推進協議会の事務局が協議会会員に代わって発信するものであり、内容についてのお問合せは、上記お問合せ先までお願いいたします。

東北の復興における人材・少子高齢化の課題 解決に関するシンポジウム

東北被災地における就労人口の不足や少子高齢化の地域課題の解決、改善提案を「ワールドカフェスタイル」で開催します。同地方の各企業の超過収益を高める「ブランドマーケティング」の経営手法に着目しながら、農業、健康産業、ロボット、介護などの各分野で実践活動している企業家の招聘・紹介をします。さらにひいては地方・都市間、国際間での「人材の相互移動」が日本の未来を切り開き、アジア地域の安定への突破口となるという内藤の思いが会場の皆さんに伝わることを願っています。

アジア・国際 人材交流 シンポジウム

日時

2019年

2月8日 [金]

17時00分～20時00分

会場

衆議院第一議院会館

丸の内線「国会議事堂前1番出口」

基調講演 (50分)

藤代典子

八戸学院大学特任准教授 / 南カリフォルニア大学経営学 MBA 卒

「農村地域における地域ブランドの挑戦」

事例発表 (各15分)

久貝サラム
・小川浩史

青森ジャパンファーム株式会社 (青森県八戸市)
「ベトナム・フエ農林大学からの現役大学生の研修生受入れ事例」

池田 右文

株式会社池田介護研究所 (青森県八戸市)
「『かなえるデイサービスまる』の実践現場からの高齢者 × 農業 × 福祉、事例」

南三陸ホテル
観洋

(宮城県南三陸町)
「東北被災者の受入れから、子供図書館開設、地域密着型の市民活動例」

糟谷 耕一

株式会社スリーピース 代表取締役社長 (宮城県気仙沼市)
「気仙沼産の素材で健康食品。東北から海外展開の発信例」

牧野佳奈子

一般社団法人 DIVE TV 代表 (愛知県名古屋市)
「動画サイト『多文化市民メディア (DiVEtv)』創業活動から、地方における移住外国人の支援活動例」

定員

100名

参加費

無料

申込締切日

2019年 [金]
2月1日

ワールド・カフェタイム / 名刺交換会 (30分)

橋本秀吉

NPO 法人 ABC ジャパン代表
「『日本ブラジル交流サイト』開設から経済グループ BBQ 設立まで」

DAO THI

元外国人技能実習生 (ベトナム)

NGOC KIM

「2018 年来日帰国後 N3 を取得。日越の交流会を開設計画」

下記宛にお名前、所属団体、連絡先 (電話、メール) を電話もしくはメールでお申し込み下さい
「入館証」準備のため、事前申込みをお願いします。但し定員に空きがある場合に限り、当日受付も承ります。

お申込み
お問合せ先

青森ジャパンファーム(株) 小川浩史
TEL: 0178-67-2300 / E-mail: amazon9220@yahoo.co.jp

【主催】NPO みらい東北 【後援】青森ジャパンファーム株式会社 【協賛】公益社団法人ベトナム協会
「復興庁・『新しい東北』官民連携推進協議会 連携セミナー事業に採択されています」

基調講演

藤代典子／八戸学院大学特任准教授

日本電信電話株式会社、株式会社イシン・ホテルズ・グループ ザ・リッツ・カールトン・プロパティ・マネジメント・カンパニー東京有限会社、株式会社ノースビレッジ・ウエルネス等を経て、青森 100 年ブランド事務所を創業。H25.4 より、八戸学院大学地域連携研究センター客員研究員、ビジネス学部非常勤講師。H29.4 より現職。H12.12 日経ウーマン・オブ・ザ・イヤーネット部門 4 位受賞 日本マーケティング学会、実践経営学会

事例発表

久貝サラム・小川浩史／青森ジャパンファーム株式会社

青森県五戸町で大規模農業経営、にんにくとりんご栽培（14ha）。埼玉県から新規就農で青森へ。りんごの苗木屋さんが監修した有機にんにくと黒にんにく。地方の高齢化による人材難の解決手立てとして、ベトナムからフエ農林大学学生 4 名をインターンとして、日本人と同等基準で受入れ中

池田右文／株式会社池田介護研究所

青森県にて、居宅介護支援事業所および小規模デイサービス施設「まる」の運営を行っている。また、介護旅行とトラベルシルバー育成を目的とした「トラベルヘルパーセンター八戸」も併設しており、運営を手掛ける。高齢者による農業、漬物など生産活動を試みるなど斬新な発想で高齢社会の抱える問題に挑戦し続けている。

南三陸ホテル観洋

発災後率先して被災民の受入れを行い、リアス式海岸で避難スポットの少ない南三陸町にあって大規模受入施設としてプールの浄水システム導入、子供図書館開設、積極的なボランティア活用、そしてその後の語り部バスの運行など一民間ホテルとしては極めて公益の視点から地域貢献を実施している。

糟谷耕一／株式会社スリーピース 代表取締役社長

宮城県気仙沼市出身。仙台育英高校の硬式野球部に所属し、甲子園に出場。東北福祉大学・硬式野球部として全日本メンバーに選出された経験を持つ。その後渡米し、ロサンゼルス・ドジャーズ 3 A に所属。米国滞在中に日本食の可能性に気づき、健康食品の販売事業を開始するため球界を離れる。2007年6月、スリーピースを設立、現職。

牧野佳奈子／「Dive.tv」代表

福井県出身。地方テレビ局の報道記者を 3 年勤めた後独立。国内外の文化・生活・地域づくりなどを取材し、主に雑誌にて発表。2015 年にインターネット動画サイト「多文化市民メディア Dive.tv」を立ち上げ、移住外国人、特に就労に焦点をあてて様々な活動を展開している。

ワールド・カフェタイム（名刺交換会）

橋本秀吉／NPO 法人 ABC ジャパン代表

ブラジル生まれで日系 3 世の橋本は、1989年の26歳の時に日本の武道を学ぶために来日。日伯交流サイトの開設、交流イベントの実施などブラジルと日本の文化交流の懸け橋として精力的に活動し、2000年にNPO法人設立。2014年には経済グループであるBBGグループ日本代表に就任している。

DAO THI NGOC KIM

2018年にベトナムからの実習生として来日。1年間福島県の縫製工場に勤務する。帰国後N3を取得。日越の交流会を開設、文化交流事業を計画している。今回は実習生の実態について実体験を基に語っていただきます。

アジア・国際人材交流シンポジウム

参加申込書

申込締切日：2019年2月1日（金） 定員（100名）になりしだい締め切りさせていただきます。

氏名（ふりがな）	
所属団体・機関	
連絡先電話番号	
メールアドレス	

送付先

FAX: 0178-67-2300 もしくは E-mail: amazon9220@yahoo.co.jp

「入館証」準備のため、事前申込みをお願いします。但し定員に空きがある場合に限り、当日受付も承ります。

お問合せ先 TEL: 0178-67-2300 もしくは TEL: 080-9777-2088（小川）